

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [口永良部島子ども会] 担当教諭名 [貴船 恭子] (小学2年生-中学2年生 8名)
 相手国・地域 [トルコ]
 海外学校名 [Emine Örnek School] 担当教諭名 [Yıldız Kenter Bölükbaşı]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	ワークショップ	アートマイルプロジェクト	15.5
	壁画制作	アートマイルプロジェクト	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Water is our future. Let's stop water pollution and make a world where all creatures live comfortably. (水は私達の未来です。水の汚染をやめ全ての生き物が住みやすい世界にしよう)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	We want to reduce garbage. We want to get beautiful sea, mountain and town. We want to get a world where fish and animals live comfortably. We want to act together for success. We want to thorough Reduce, Reuse and Recycle. We don't want to use much plastic.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs について関心を深める事が出来た。 ・ワークショップを複数回開催する事により、夫々が自分の意見を発言し、それらをまとめて課題や総意を明らかにしていく作業がスムーズに出来るようになった。 ・国際交流を通じて自国への意識と他国への敬意を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境が悪いため初めからテレビ会議などオンラインでつなぐ予定はなかったが、つなげられたらもっと交流が深まったと思う。 ・テーマについて学んだ事を共有する事は出来たがそこからお互いの想いや考えをすり合わせるためにはもっと工夫が必要だと感じた。小学生には難しいかもしれないが中学生や高校生ぐらいなら英語でコミュニケーションをとりながら話し合いを深め、様々な学びに繋げることが出来るだろう。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・あまり馴染のない国だったトルコだがアートマイルを通じて身近な国となった。 ・相手国の描いた絵を鑑賞して改めて文化の違いを感じた様子だった。 	子ども達が交流を通じて文化や背景の違いを理解するようになり、さらに一緒に作成した壁画を鑑賞して違いが面白いと発言していたのがよかった。これからさらに国際化がすすむと思うが相手を尊重し違いを認め、その上での協働が必要となってくる上で大切な経験となったと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 地域の紹介 日本の紹介 (パワーポイントの作成) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の伝えたい所、日本の伝えたい所は何かを話し合い、改めて自分達について考える機会となった。 出来る子は英語で自己紹介文を作成した。 	ワーク ショップ
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> テーマ 12, 14 について考える (島で起きている現状、世界の現状、未来について) 課題出し、希望する未来についての意見出し 	<ul style="list-style-type: none"> テーマについて地域の問題から世界、さらに未来に広げて考える機会となった。 課題出しでは多くの意見が出た。 	ワーク ショップ
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> トルコから送られてきたテーマに対する考えを共有 私達の想いと合わせる テーマ(案)出し 壁画の構図について 	<ul style="list-style-type: none"> 国が違っても同じような問題を抱えていると知った。 相手国の意見を尊重しながらテーマを考える事が出来た。 	ワーク ショップ
創造 壁画制作	11月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作 メッセージ書き 	<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれ、時々遠くから作品を見ながら制作活動を行った。 	壁画制作
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> 絵の鑑賞 活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した壁画を鑑賞した。 一年間を通じた活動の振り返りではそれぞれに貴重な体験となったと発言していた。 	ワーク ショップ

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついった 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	普段なかなか出来ない客観的に自分たちを見る機会となったと思う。
異文化を理解する力	5	実際に交流をする事により文化や背景の違いを理解する事が出来た。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	ゴミ問題について地域の現状については子ども達が主体的に学んだが世界や未来につなげて考えるための情報収集は指導者が行った。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	中学生は出来る範囲で英語を実際につかってもらったが、小学生には難しく日本語で書いたものを英語に訳して交流した。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	ワークショップを通じて皆から出た意見を整理し課題や共通意見を抽出するという作業に慣れていった。
主体的に考え行動する力	3	子ども達に主体性があったかという分からないが、意見はたくさん出ていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	他者(異文化の国)との協働が面白かったと発言していた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	テーマにそった壁画の構図を考える事が出来た。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	SDGsに対する意識を高め、国際的な感覚を持つ事が出来るようになった。